数　　学

「◯◯説ある」等の日本語表現に関する藤田・小幡予想

2022年　藤田恭輔・小幡真意人

1. はじめに

昨今，SNSやインターネット掲示板の台頭の影響から，一般会話におけるインターネット・ミーム(注1)の発生が多く見られるようになった．

本稿では，その中でも「◯◯説ある」などといった，ある事柄に関して，それが断定的ではないが，おおよそ1に近い可能性が認められる状況に用いられる日本語表現のフォーマットについて，その応用方法と一般化された規則についての我々の予測的見解について論じ，読者に対し，検証並びに査収を頼まれたい．

2. 「〇〇説ある」等の日本語表現について

2-1　この日本語表現の発現と広がりについて

検証されたい事物の末尾に「説」を付す表現そのものは，かねてより多くの日本語表現(日本語に留まらず，他言語にも該当する)で見られる．例えば，生物学における「細胞内共生説」や日本史の「邪馬台国」の起源に関する「近畿説」や「九州説」等は多くの学生も触れたことがあろう．この日本語表現の用いられ

る領域は，多くは学術的な事物に関するものであることが多く，日常会話で多用されるような表現では元来なかった．

しかし，本稿が論じる「〇〇説ある」等の日本語表現は，主に日常会話，特に若年層間での会話に用いられる表現で，このとき，「〇〇説ある」というときの「〇〇」には，例えば「あいつ彼女できてる説」などといった，あくまで学術的な領域に関する事物であるとは到底言い難いような，平易で一般会話的なものが多く選ばれがちである．この表現は，一般的には TBS テレビで 2014 年より放送されている「水曜日のダウンタウン」（注２）で用いられたのをきっかけに，まずはインターネット上の会話で多用されるようになり，インターネット・ミーム的に口頭会話でも用いられるようになったとされている．

2-2　この日本語表現の主な用例

- 「『開けたら人がいる』が結局一番怖い説」（「水曜日のダウンタウン」）
- 「『待て』と言われたとき，さすがに人なら犬より待てる説」（「水曜日のダウンタウン」）
- 「来週火曜日も入れとく説」(藤田・小幡の会話で実際に用いられていたもの)

3.「〇〇説ある」という形式の応用

3-1　「〇〇説ある説ある」

先に述べた通り，日常会話において「〇〇説ある」というような表現が浸透してのちに，「〇〇説ある」という形式の「〇〇」の部分に「〇〇説ある」そのものを代入し，「〇〇説ある説ある」という回りくどい表現が一部で用いられるようになった．

3-2　「〇〇説ある説ある説…説ある」

3-1 での事柄がまた応用され，さらに回りくどい表現が一部で用いられるようになった．

3-3　「〇〇説ある説ない」

今度は,「〇〇説ある」という形式の「ある」に対して,「〇〇説ない」と表現することで, ある種の二重否定や強調的否定表現に代替する表現が一部で用いられるようになった.

3-4　「〇〇説ある説ない説ある説…」

3-1 から 3-2 が発生したのと同じように，3-1 や 3-3 から 3-4 が発生する.

4.「〇〇説ある」の応用に関する藤田・小幡予想

4-1　前提

先に述べた(主に 3-4)ような表現を口頭会話上で多用すると，聞き手は最初に示された事柄に関して，その話者が肯定的に論じているのか, 否定的に論じているのかをそれに付された「説ある」と「説ない」の個数に応じて判断する必要があり，これが非常に苦労のある行為である.

そこで，本稿では，この 3-4 のような表現を多用する話者のような民度の低い人間を友人に持ってしまった人に向けて，より簡単に話者の発言の真意を捉えられるような一般的規則に関する提案(予想)を論じたい.

4-2　議論のために必要な定義

「〇〇説ある説ない説ある説…」等(2-1，3-1～4)の表現がなされたとき，以下のように定義する.

- n, $m \in \mathbb{N}$（ただしここでは，$0 \in \mathbb{N}$）
- n　：＝発言された表現のうちの“ある”の個数
- m　：＝発言された表現のうちの“ない”の個数
- A　：＝「〇〇説ある…」の「〇〇」の部分．議論の対象となる仮説や事物.

また，これらを踏まえ，以下の表記をこの意味で用いる.

- $P_A(n, m)$＝「A である説ない説ある説…」（“ある” n 個，“ない” m 個）

4-3　藤田・小幡予想で用いる定義

(1)	$P_A(n,\ m)$が肯定文を指定する．　⇔ A を実行する．
(2)	$P_A(n,\ m)$が否定文を指定する．　⇔ A を実行しない．
(3)	$(a,\ b)\equiv(c,\ d)$ ⇔ $P_A(a,\ b)$，$P_A(c,\ d)$の肯定または否定の一致

4-4　藤田・小幡予想の議論の対象物

4-3-(1), (2)で述べた「肯定文」･「否定文」について，これを定める n, m の値の条件についての一般的規則を議論の対象とする．そのため，以降 4-3-(1)～(3)は全て自明なものとする．

4-5　検証 :「群」の定義に基づく $P_A(n,\ m)$の扱い

α，β，$\gamma\in${ある，ない}とし，これらについての演算を“α説β説γ”とする．このとき，

（ｉ）　α説$\beta\in${ある，ない}

（ⅱ）　α説(β説γ)$\equiv$(α説β)説γ （結合法則)

（ⅲ）　演算の単位元は“ある”のただ一つである

（ⅳ）　逆元の存在

（ｖ）　α説$\beta\equiv\beta$説α （交換法則)

が成り立つことから，この演算において，集合{ある，ない}は群であり，特に，可換(アーベル)群である．

4-6　以上のことから導出できる定理

（Ⅰ）　$P_A(0,\ m)\equiv P_A(1,\ m)\equiv P_A(2,\ m)\equiv\cdots\cdots\equiv P_A(n,\ m)$

→(※)<u>$P_A(n, m)\equiv A$ で(ある)^{n}説(ない)^m であることと，4-5-(ⅲ)から，$P_A(n,\ m)$の指定する文意は n の値によらず，m の値のみを条件とする。</u>

（Ⅱ）　m が偶数 ⇔ $P_A(n,\ m)$は肯定文を指定する．

m が奇数 ⇔ $P_A(n,\ m)$は否定文を指定する．

4-7　定理の証明

(Ⅰ) : 下線部(※)より自明.

(Ⅱ) :

「m が偶数ならば $P_A(n,\ m)$は肯定文を指定する．」の証明

(証明)

(Ⅰ)より，$P_A(n,\ m) \equiv A$ で(ない説)^m

$$\equiv A\ \text{で(ない説ない)}^{\frac{m}{2}}$$

$$\equiv A\ \text{説(ある)}^{\frac{m}{2}}$$

$\therefore P_A(n,\ m)$は肯定文を指定する．//

$\boxed{\text{「}P_A(n,\ m)\text{は肯定文を指定するならば，}m\text{は偶数.」の証明}}$

(証明)

「ない説ない」は「ある」と同値.

∴ (ない)^2≡ある

∴ (ない)^{2m}≡(ある)^m //

以上のことから,「m が偶数 ⇔ $P_A(n,\ m)$は肯定文を指定する.」の題意は示された.

ここで,「m が奇数 ⇔ $P_A(n,\ m)$は否定文を指定する.」は,先に述べた「m が偶数 ⇔ $P_A(n,\ m)$は肯定文を指定する.」の対偶であるから，明らかである.

5. むすび

4-1 において,「3-4 のような表現を多用する話者のような民度の低い人間を友人に持ってしまった人に向けて，より簡単に話者の発言の真意を捉えられるような一般的規則に関する提案(予想)を論じたい」と述べていたにも関わらず，こうした一般化を目指す考察をすることによって，却って難解な概念となってしまったことについて，やや呆れつつあるが,「本稿が読者にとってというより，我々にとって有意義だった説ある説ない説ある説ない(n=2, m=2)」とでも結んでおこうと思う.

注　釈

（注１）インターネット・ミーム

インターネットを通じて人から人へと，通常は模倣として拡がっていく行動・コンセプト・メディアのこと．

（注２）水曜日のダウンタウン

本項目については，以下の WEB サイトを参照されたい．

https://www.tbs.co.jp/suiyobinodowntown/

演　　　習

1　次の各文において，下線部は実行されるか・

（1）　明日 GENKY 行く説ある説ない説ない説ある説ない．

（2）　「バンクシーって誰？展」行く説ある説ない説ない．

発展（3）　明日もランニングする説しかない説ある説ある．

2　次の関数の示す「肯定文」または「否定文」の条件と合同な文を一つずつ作れ．

（1）　$P_A(3,\ 400000000)$

（2）　$P_A(3,\ 14159265)$

（3）　$P_A\left(\int_1^2 (3x-1)^3\,dx+\int_2^1 (3x-1)^3\,dx,\ 4\right)$